

「天草子育てフォーラム」に参加して

上益城郡P連は、平成二十八年八月二十日(土)に天草PTA連合会主催による「天草子育てフォーラム」に参加しました。

天草PTAのご厚意により、震災後の上益城PTAでは、例年通りの活動が困難であろうと心配いただき、ご案内がなされたものでした。フォーラムでは、立命館大学教授藤山英男氏による「常識を破れば子どもは伸びる」の演題により、「規則正しい生活習慣の定着」の大切さや「百ます計算や漢字練習の反復学習」による基礎学力の向上に取り組む教育法の講演がなされました。

山都町PTA連絡協議会
会長 山下 公司



九州PTA研究大会みやざき大会に参加して

第六十一回日本PTA九州プロック研究大会みやざき大会が、「未来の宝、みんな育て、みんな育てつ」と題して、平成二十八年十月二十九日(土)の二日間、九州各地より約八千名を超えるPTA会員が集まり、盛大に開催されました。二十九日は、宮崎県内十か所で行われ、私たちが上益城郡P連は第七分科会に参加しました。第七分科会では、キャリア教育をテーマに討論が行われ、熊本県宇土市網田中学校PTAが「学校・家庭・地域が連携したPTA活動をめざして」と題して提言が行われました。網田中学校PTAでは、「網田親子サミット」をとおした活動を紹介され、学校生活や家庭生活における様々な課題を親子で話し合い、解決の方策を探る取り組みが行われており、家庭と学校、地域が密接に連携しながら、課題解決に取り組む、家庭教育力の向上を図られています。保護者が自ら司会をし、親子で特別協議をして、学校全体で取り組むためのスローガンを作成するとの内容で実施しておられ、子どもたちと保護者が一緒に話し合う中で、保護者から実社会の中での経験を活かしたアドバイス等もあり、子どもたちが真剣にそれを受け止めて自分たちの生活を振り返り止めて自分たちの保護者にとっても自分の役割を改めて考える機会となっておりすばらしい取り組みであると感じました。

科会が行われ、私たちが上益城郡P連は第七分科会に参加しました。第七分科会では、キャリア教育をテーマに討論が行われ、熊本県宇土市網田中学校PTAが「学校・家庭・地域が連携したPTA活動をめざして」と題して提言が行われました。網田中学校PTAでは、「網田親子サミット」をとおした活動を紹介され、学校生活や家庭生活における様々な課題を親子で話し合い、解決の方策を探る取り組みが行われており、家庭と学校、地域が密接に連携しながら、課題解決に取り組む、家庭教育力の向上を図られています。保護者が自ら司会をし、親子で特別協議をして、学校全体で取り組むためのスローガンを作成するとの内容で実施しておられ、子どもたちと保護者が一緒に話し合う中で、保護者から実社会の中での経験を活かしたアドバイス等もあり、子どもたちが真剣にそれを受け止めて自分たちの生活を振り返り止めて自分たちの保護者にとっても自分の役割を改めて考える機会となっておりすばらしい取り組みであると感じました。



三十日は表彰式や全体会終了後、貴乃花部屋的女将、花田景子さんの記念講演が行われました。「生き抜くためのふんばる力」と題して、親方の現役時代の話や、そのときの子育ての話、自らの高校時代の留学の話に興味深く聞きました。中でも貴乃花親方の現役時代の家庭内の話

はとても緊迫感があり、勝負の世界の厳しさをあらためて感じました。また、十人の弟子の成長を願う、親方、女将の思いも感じることができたいへん有意義な講演となり、会場は涙に包まれました。

今回の研修会に参加して、子どもたちに自分の姿がどんな風に映っているのか、あらためて考えさせられる機会となりました。研修会の冊子の中に「未来は今の積み重ね。今をどのように過ごすのが大切。子どもたちが今を後悔のないように過ごせるようにすることが大人の役割でもある。」と一文がありました。子どもたちの未来のため、今を精一杯頑張ろうとあらためて思うことができました。

上益城郡PTA連絡協議会
副会長 松本 文孝

上益城郡PTA連絡協議会 研修会開催

平成二十八年十一月十九日、甲佐町におきまして、上益城郡PTA連絡協議会研修会を開催しました。熊本地震及び、豪雨災害の影響で開催が危ぶまれていましたが、無事行うことができました。今回は、会場の都合により、例年の半数の会員の参加となりました。

また、多くの来賓の皆様方のご出席を頂きましたことに心より感謝申し上げます。

第一部では、NTTドコモインストラクターにより、「スマホ携帯安全教育」が行われました。インターネットで簡単に全世界につながるスマートフォン周りのには多くの危険が潜んでいるということ、子どもたちをその危険から守る、技術的な手段としてのフィルタリングやウイルス対策、そして周囲の大人たちの見守りと注意が必要だということがよくわかりました。また、ただ禁止したり心配するばかりではなく、子どもの悩みや相談のつてあげられる環境を作ることが大事であるという思いを、強く感じまし

た。



たいと思います。そして、一日も早い「上益城の復興」を願い、一歩一歩前に進んでいかなければいけないという思いを強くした研修会でした。

甲佐町PTA連絡協議会
会長 奥名 貴一

熊本地震被災者の掛金免除について

熊本地震被災者の掛金免除について

熊本地震被災者の掛金免除について

第二部では、尚網短期大学教授の緒方安明先生から「子どものよりよい育ちと家族の役割や支え(熊本地震等の影響を念めて)」という演題で、講演いただきました。子どもたちがより良く育つためには、母親の安定が必要なこと、すなわち、「女性の幸せで、いつも笑顔でいることが、家族の安定につながる」ということを学ぶことができました。

これらの研修会で得た知識を、子育てやPTA活動に活かしていきたい

☆平成二十九年度共済ご加入契約について
来年度の共済加入申し込みは、す

☆本年度の共済期間は三月三十一日までです。
現在のご加入による共済の適用は平成二十九年三月三十一日までです。今年度のPTA活動や部活動は春休み中であっても、四月一日以降は対象となりませんのでご注意ください。中学生が進学予定の高校などの部活動等に参加する場合は、入学式以降であれば、次年度の高校等での加入により共済の適用を受けることができます。

編集後記

今年、熊本地震をはじめ、自然の強さを身に染みて感じた年となりました。悲しいことや辛いことがたくさんありました。しかし、今年ほど「絆」「人の温かさ」「子どもたちの笑顔」に励まされ、前を向く気持ちになれた年はなかったと思います。全国のみなさんからいただいた支援を無駄にせず、元氣と笑顔を取り戻していきたい。そんな気持ちを忘れずに、毎日を大切に過ごしていきたいように。
来年は良い年になりますように。

こころの健康アドバイザー事業相談窓口



熊本地震による心の健康問題にメールにて対応いたします。心配事、問題など遠慮なくご相談ください。上のQRコードを使って送信すると、下記の5名の先生方からいくつかの回答が得られます。

- 弟子丸 元規 (希望ヶ丘病院 精神科医)
- 園部 博典 (崇城大学総合学習センター准教授 臨床心理士)
- 松倉 誠 (崇城大学薬学部教授 小児科医)
- 岩永 靖 (九州ルーテル学院大学准教授 精神保健福祉士)
- 松井 勇人 (希望ヶ丘病院 精神保健福祉士)

熊本地震に関する県の相談窓口一覧は、熊本県ホームページをご覧ください。

熊本 お問い合わせ 相談窓口一覧 検索